

令和7年5月1日号

まちなみ通信 No.72

～ みやじまの町家に親しむ会の取り組み ～



伝建制度50周年記念事業
「伝建スタンプラリー」

廿日市市宮島町のスタンプ

－ みやじまの町家に親しむ会の取り組み －

町家に親しむ会では、世代が交代していくなかで、近代の歴史や文化、伝統などを継承するための記録保存の一環として、西町、東町の各地元から当時の様子に詳しい方々を招いて、生業（なりわい）や暮らし振りを語らいながら、昭和期における古地図、『生業マップづくり』を行っています。

【生業マップづくりのねらい】

町家の建物履歴は、その家の生業や暮らし、家族構成などの変遷が大きく関わります。特に正面の外観意匠は、前面道路から1室目の「ミセ」と言われる部屋の使い方やその上の階の使い方などに影響を受けます。

住宅として使われてきた家なのか、商売を営んだり、伝統工芸など作業をされたことがある家なのかなどによって玄関建具や格子の形態も異なります。

例えば、「ミセ」をロクロ細工や杓子づくりの作業場として使っていた時期は、土間であったり、板の間だったり、その上の階については材料置き場であれば「つし二階」であったり、家族が増えて居室が必要になれば、階高を確保するため屋根を高く改変していたりというケースもあります。

町家の特徴をまとめたり、町家の復原を検討する際には、こうした関係性を整理していくことが大切な要素になります。

【これまでの作業】

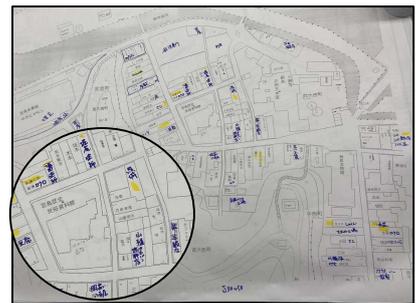
第1回の2月13日、西町から始め、第2回の3月13日、東町の魚之棚あたりまで、第3回の4月10日は東町魚の棚あたりから東西連まで一巡しました。

現況地図を広げて、昭和期の店舗（物産店、問屋、質屋、八百屋、酒屋、茶屋、豆腐屋、うどん屋、お好み焼き、写真屋、洋服店、履き物店、自転車屋、燃料店、銭湯、旅館、美容院、理髪店など）や医院（内科、歯科など）、伝統工芸関連（ロクロ、茶筒、箸箱、さじ、杓子、角盆、漆塗り、彫り師、焼き物など）の工場や職人さんの作業場などを地図に落とし込んでいく作業のなかで、少しずつ当時の様子が見えてきました。

生業や暮らしの様子を振り返り、昔話にも花が咲きました。



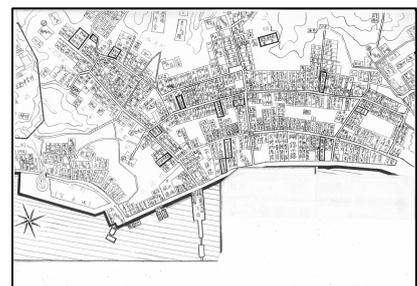
マップづくりの様子



現況地図（西町）



現況地図（東町）



昭和期の地図

～ 伝統的建造物の紹介 No.7 《白水家》～

下中西町に建つ町家です。主屋は切妻造平入2階建て、間口は約4間、奥行きは約5間あります。外観は土壁造りで1階には格子、2階には手すりがあります。基礎部分は切り石を使用しています。

間取りは、1階が通り庭（土間）、9畳の板の間、6畳の板の間、8畳の和室で、2階は12畳の和室、15畳の和室があります。

玄関戸は改変されていますが、内側に宮島町家の典型的な扉である大戸が今も残されています。

外観及び内部は改修を行っておらず、ほぼ建設当初のままの姿が残っています。1階の下屋の出桁には金属製の模様入りの持ち送りが取付けられており、2階は丸桁がかけられています。これらのディテールから、およそ大正から昭和初期の典型的な町家の1つであると考えられます。



現在の白水家外観



調査時の中庭の様子



出桁を支える金属製持ち送り



今も残る玄関内の大戸

シロアリ駆除のための補助制度を活用してみませんか？

シロアリ駆除の時期は、4月～9月ごろが効果的です。

伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象に、シロアリ駆除のための補助制度を準備しています。（補助率9/10以内 上限100万円）※予算には限りがあります。

シロアリ被害にお困りの方や心配の方は、ぜひ一度、宮島企画調整課までご相談ください。

連絡先：(0829) 30-9119

【建物相談会のご案内】

建物に関する相談会を実施します！宮島企画調整課の職員がお待ちしております！

○日時：令和7年5月14日（水）9時00分～17時00分〈予約は不要です〉

○場所：etto 宮島交流館 工作室

○相談事例：建物のお困り事（雨もり、白蟻、外壁劣化、耐震化...）、補助制度など

○その他：予約不要です。

※もちろん秘密厳守です。

まちなみ通信 No.72（令和7年5月1日）発行

廿日市市 経営企画部 宮島企画調整課 歴史まちなみ保存活用係 TEL(0829)30-9119 FAX(0829)32-1059